

みのりTIMES

内部向け情報誌

生活介護・就労B型&グループホームの情報誌

2023
8/9

8・9月号

社会福祉法人みのり福祉会
令和5年7月28日発行

【発行】社会福祉法人みのり福祉会
多機能型支援施設みのり・グループホーム

<本部>

〒350-1305

埼玉県狭山市入間川 3273-23

TEL: 04-2954-8566

FAX: 04-2954-2646

e-mail: t-minori@bell.ocn.ne.jp

HP: <http://www.minori-fukushi.or.jp/>

ホームページはこちらから！
ブログも随時更新中！



あおぞらいちば - 多様性と価値観と奇跡 -

連日の暑さ、空一面のあおぞらの中、色とりどりの花が咲いています。

赤や黄色、オレンジ、ブルーと花の色を見ていると暑さも一瞬和らぐように感じます。仕事ではあまり目立たないように、紺や茶など無彩色の服を着ることが多いのですが、ポイントで有彩色が大きく入った服は好きです。身近な視覚の中がカラフルなことは幸せで刺激的なことのようです。

私たちの身近には、このように多様な色や人や文化がある中で社会が成立しています。もしかしたらその中には赤やオレンジなどの暖色系の色を冷たいと感じる人、有彩色が白や黒など無彩色に感じる人などいるのではないのでしょうか。

障がいにより一般的な価値観との相違があることだけではなく、私たちにおいても価値観は多様であり、昨今では多様性のある社会実現が謳われています。

私たちの行う支援は、多様性に並走する事であり、そのためには価値観を共有することや受容すること、多様性を認めることではなく、受け入れることが必要です。

多様性を認めることとは、「違い」を根拠建て、理路整然と個を尊重し、人それぞれと、整理すること。

多様性を受け入れることとは、「違い」を楽しみ、知りたくなり、刺激となり、その魅力に取りつかれること。

価値観は人それぞれです、と、私たちは言って、突き放し、孤独を生み出してきてないのでしょうか。カテゴリー分けした価値観と、してはいけないことを明文化する法整備を行ってきてないのでしょうか。

ここらへんで、価値観の違いや多様性とは奇跡であると考えてみませんか。

たまたま話した人と同じ映画を見ていた奇跡、車が行きかう国道で同じ車とすれ違った奇跡、突然の便りが届いた奇跡、蹟かなかった、転ばなかった奇跡、今日もみんなに会えた奇跡。

毎日は奇跡の連続で成り立つから、楽しく刺激的なのでしょう。「明日また奇跡があるから」「違いがあり、多様だから」楽しめることがたくさんあるはずです。

理事長 坂本光雄



法人倫理要綱に関する 内部研修を実施しました

支援員のほかにも、事務員や運転手、添乗員等、多機能みのりの全職員を対象に、複数の事例についてグループワークを行いました。





外出訓練報告

5月から6月にかけて、生活介護利用者さんを対象に外出訓練を実施しました!!職員から集まった写真を一部紹介♪

こもれび班



班のメンバーで和食レストラン「徳寿庵」へ行ってきました。
全席個室が特徴のレストランで、のんびりと食事の時間を
楽しむことができました♪

なごみ・すいと班



越生町にある「ニューサンピア埼玉おごせ」へ行き、バーベキューをしました!!当日は天候にも恵まれ、皆さんで美味しく楽しい時間を過ごしてきました♪

ぐろーリー班



3グループに分かれ、「羽村動物公園」と「埼玉県立川の博物館のレストラン」へ行ってきました。長距離の外出は楽しかった分、疲れた事と思います。また行きたいですね!!

ぶりき班



さいたま市にある「鉄道博物館」へ行ってきました。
たくさんの車両が展示されていて、どの展示物も見ごたえ
抜群でした!車両の中で食べられるお弁当も新鮮でしたね♪

すずらん班



3つのグループに分かれて「プレミアムカルビ」と「花園アウトレット」へ行ってきました。皆さんと食べるご飯はとても美味しかったです♪

職員についてのお知らせ

退職

6月30日付

多機能型支援施設みのり 生活支援員
あおき なつこ
青木 奈都子

8月・9月の予定

- ・モニタリング面談
- ・夏休み

(8月11日～20日)

